

地区遺族会会長 }
女性部長 } 殿
顧問 }

一般財団法人 東京都遺族連合会
会 長 宇田川 剣 雄

東京都遺族連合会創立 70 周年記念運営基金募金 の実施について（お願い）

平素から、本会の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、昭和 24 年 5 月 30 日に設立された一般財団法人東京都遺族連合会は、平成
31 年 5 月に創立 70 周年を迎えることとなりました。
70 周年記念事業・行事の全体計画については、本年 3 月に開催した理事会、評議
員会においてご承認を戴き、下記のとおり決定され、実施することと致しました。
多事多端のところ誠に恐縮に存じますが、会費による遺族会活動を目指す運営基金
募金を含め 70 周年記念事業に絶大なご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ
ます。

記

I、「運営基金募金」

- | | | |
|-----------|--------------------------|---------|
| (1) 募金の目的 | 別紙「運営基金募金趣意書」のとおり | |
| (2) 募金目標額 | 1 千 5 百万円 | |
| (3) 募金期間 | 平成 30 年 5 月より 31 年 7 月まで | |
| (4) 募金額 | 戦没者の妻・子・兄弟姉妹 | |
| | 1 口 1 万円 | 口数は問わない |
| 一般遺族 | 1 口 3 千円 | 口数は問わない |

- 募金事務費として、地区遺族会に募金額の 10%（60 周年記念募金は 10%）を交付することと致します。
- 運営基金募金実行委員会委員として、本会理事及び女性部長の方々にお願いすることとしましたのでご了承下さい。

1. 厳しい財政事情

遺族の高齢化と世代交代により、会員の減少とそれに伴う活動財源となる地区分担金（年会費500円×会員数 平成29年度決算276万円）も減少を続けています。

そのため、毎年運営基金を580万円取崩して活動を維持していますが、このままでは、5年余で運営基金もなくなり、遺族会活動の継続が危惧されます。

このため、会員増員の努力はもとより、会費の値上げや事業の縮小などを検討せざるを得ない状況にあります。

2. 運営基金募金の使途

ご協力いただいた運営基金募金は、基金として積立て、遺族会の基本的な活動である次の各事業経費に使います。

本会の昨年度決算を例に挙げると、会員の年会費（500円×5520人＝276万円）と繰越金や基金取崩金（794万円） 合計1070万円で賅っています。

(1) 英霊の顕彰並びに慰霊に関する事業の実施に係る経費 <147万円>

- ・戦没者霊苑拝礼式の供物・供花代 (34万円)
- ・東京都追悼式の供物代 (36万円)
- ・地区遺族会慰霊祭出席時の供花料 (7万円)
- ・南方地域追悼式・硫黄島追悼式及び海外戦跡慰霊巡拝の諸経費 (43万円)
- ・旅費交通費・雑費 (27万円) 等

(2) 遺族の処遇改善及び福祉活動の実施に係る経費 <18万円>

- ・特別弔慰金の充実等への日本遺族会との協働による国会陳情及び都知事への予算要望時の交通費等 (4万円)
- ・妻への慰問品贈呈費 (12万円)、通信費・消耗品 (2万円) 等

(3) 遺族連合会会報の発行費及び研修事業の実施に伴う経費 <44万円>

(4) 理事会、評議員会、正副会長会、女性部長会等組織活動に係る交通費等の経費

<60万円>

(5) 連合会事業・事務運営費に係る経費

<801万円>

- ・日本遺族会等への分担金 (133万円)
- ・連合会運営に係る人件費・パソコン・印刷機コピー・リース代等の事務費 等
(668万円)

★ 送付書類

- ・「東京都遺族連合会運営基金募金趣意書」
- ・募金申込書、領収書（控）、募金総括表

II、「創立70周年記念事業・行事」式典実施要領 別紙のとおり

「東京都遺族連合会運営基金募金趣意書」

東京都遺族連合会は、昭和二十四年五月三十日区市町村遺族会の結集のもとに財団法人東京都遺族厚生会として創立致しました。

爾来七十年間にわたり日本遺族会の中心となつて、國家に殉じられたご英靈の慰霊顕彰と遺族の公務扶助料等の増額による処遇改善、福祉向上のため運動を展開して参りました。

現在、國民は当然のように平和と繁栄を享受しておりますが、この礎には多くの戦没者の尊い犠牲と遺族の長い苦難の上に築かれたものであることを忘れてはなりません。そして、この遺徳を決して風化させることなく、「二度と戦争をしてはならない。我々のような遺族をだしてはならない。」という信念の基、英靈を顕彰し、遺族を労い、戦争の悲惨さと平和の尊さを子々孫々まで継承して行くことが遺族会に課せられた重要な使命であります。

激動の時代を生き抜いた戦没者の妻の高齢化と共に遺族会員は年々減少するなど厳しく推移していますが、慰霊追悼の諸行事をはじめ、國家補償の理念に基づき公務扶助料等の増額改定、特別弔慰金の充実、遺骨収集や慰霊巡拝諸事業の拡充等今後とも力強い組織力をもつて運動を継続していかねばなりません。

こうした趣旨から、本会創立七十周年を機会に運営財政の改善に資するため、左記により運営基金募金をお願いすることと致しました。

多事多端の折誠に恐縮に存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 一、募金目標額 一千五百万円
- 二、募金期間 平成三十年五月より三十一年七月まで
- 三、募金額
 - ・戦没者の妻・子・兄弟姉妹
 - 一口 一万円 口数は問いません
 - ・一般会員
 - 一口 三千元 口数は問いません
- 四、申込先 東京都遺族連合会事務局
- 五、申込方法 地区遺族会毎に別紙申込用紙にご記入の上
現金を添えて事務局にお届け願います
銀行・郵便局でも結構です

平成三十年五月

- 一般財団法人 東京都遺族連合会運営基金募金実行委員会
- 委員長(会長) 宇田川 劍雄
 - 副委員長(副会長) 中山 和政
 - 副委員長(副会長) 富田 專代志
 - 副委員長(副会長) 立川 恒子
 - 副委員長(女性部長) 烏崎 恵子
 - 委員(理事)
 - 齋藤 國一 齋藤 洋一
 - 藤井 政孝 龟谷 眞
 - 萩原 秀邦 安藤 武夫
 - 眞田 立穂 金刺 治利
 - 田邊 美佐子 森田 一芳
 - 渋谷 銀蔵 朝倉 泰行
 - 持田 幸男 私市 恵一

申 込 書 (現金を添えて所属地区遺族会又は東京都遺族連合会にお届けください)
東京都遺族連合会運営基金募金の趣旨に賛同し申込みします。

一 金 円也

平成 年 月 日

一住所

一氏名

一般財団法人東京都遺族連合会
会長 宇田川 劔雄 殿

..... キリトリせん

領 収 書 (ご協力いただきました方にお渡しく下さい)

一 金 円也

但し、東京都遺族連合会運営基金募金
右正に領収致しました。

平成 年 月 日

一般財団法人東京都遺族連合会
会長 宇田川 劔雄
取扱者氏名
殿

印

..... キリトリせん

領 収 書 控 (各地区で保管してください)

一 金 円也

但し、東京都遺族連合会運営基金募金
右正に領収致しました。

平成 年 月 日

一般財団法人東京都遺族連合会
会長 宇田川 劔雄
取扱者氏名
殿

印

東京都遺族連合会創立七十周年記念式典実施要領

本会は、昭和二十四年五月財団法人東京都遺族厚生会として発足以来、来年をもつて創立七十周年を迎える。

この記念すべき節目の年を迎えるにあたり、関係各位のご尽力に感謝の意を表するとともに新たなる発展を期するため、左記により記念式典を挙げる。

記

- 一、開催日時 平成三十一年五月二十一日（火） 午後二時開式
（受付開始十二時三十分）
- 二、開催場所 明治記念館 富士の間
- 三、式典出席者 来賓 ・ 東京都知事 ・ 都議会議長
・ 自民党東京都連会長 ・ 都議会自民党幹事長
・ 日本遺族会会長
・ 日本遺族会第2ブロック常務理事
・ 靖国神社
遺族 東京都遺族連合会四十六支部 二四〇名
- 四、記念表彰 東京都遺族連合会会長表彰
- 五、記念講演 古賀 誠 日本遺族会名誉顧問

〔式典次第〕

*司会 島崎恵子・松丸留美

- 一、開式の辞 中山和政 副会長
- 二、国歌斉唱
- 三、黙 禱
- 四、会長式辞 宇田川 劍雄 会長
- 五、来賓祝辞・祝電披露
- 六、記念表彰
- 〈五分間休憩〉
- 七、記念講演 古賀 誠 日本遺族会名誉顧問
- 八、靖国神社の歌
- 九、閉式の辞 富田 喜代志 副会長